

2021年度 法人事業報告

1 経営・運営体制の充実

2021年度は役員改選があり、理事6人、監事2人、評議員7人、評議員選任・解任委員4人を選任した。理事会は5回、評議員会は2回開催し、事業報告、決算報告、事業計画、予算について討議してきた。

法人全体の経営、運営体制は不十分ではあるが、概ね順調に推移してきた。引き続き充実を目指す。(日時、内容は別途)

2 法人内管理体制の充実

法人内においては、理事三役会議、管理者会議、GH常勤会議、日中会議、法人事務会議を各々月1回行い、事業計画、事業報告、決算、予算、利用者の支援内容、職務体制、人材確保の問題、事業所の管理運営など話し合い、会議内容の充実を含め取り組んできた。特に、管理者会議の充実を目指し、運営してきたが、改めての認識として、管理者は各事業所の責任者とともに経営側の一員でもあり、責任を持つ役割である。

3 役員体制及び職場人事体制

役員改選は、2018年10月の社会福祉法改正、2019年4月法施行後からはじめての理事、評議員、監事の一斉改選となった。

役員確保に苦勞したが、全員のご協力により、順調に体制が整った。

また、この間議論になっていた法人本部体制の充実については、2022年4月から専従常勤理事の確保ができた。

業務執行理事を複数とし、定款、役員報酬規程を変更し、体制を整えてきた年度となった。そして各事業体において統括管理者を配置し、法人事務局に事務長を配置、グループホーム各事業所にホーム長を配置するなど、業務内容、体制に責任を持つようにした。

職場体制では、管理者、サービス管理者の確保が不十分であり、早急に研修への参加など対応を進める必要があったが、コロナの関係で2021年度は困難を極めて、引き続き対応を進める。

全体の職員体制では、日中事業所は勤続5年以下が過半数を占め、支援管理業務は不十分な点が多い。早急にスキルアップを目指すことが必要。同時に各事業所の人材獲得を強めることである。

4 各事業体の主要業務報告

- (1) ネバーランド、本部事務局の移転

2016年5月に法人あてに保護者から「ネバーランド移転」の要望書が出され、2017年5月理事会から、2019年6月評議員会まで、移転及び経費の議論がされてきた。ネバーランド、本部事務局移転問題は、2021年9月に引っ越しが完了し、金融機関へのローンの返済が始まっている。

移転に伴う年月は約5年を要し、様々な議論や、複雑な事務手続きが行政や地元、金融機関などとあり、役員、職員にはこの間大変な苦労があった。

しかし、法人としての資産となり、今後の法人運営には大変良い結果となった。

(2) GH 移転等

3年前から、GH 今人の移転が議論されてきた。内容としては、使用道路が狭く、駐車スペースがない、2階建てであるが1階が使用道路より下がっていて、住居に入りにくいなどグループホームとして「使い勝手は悪い」となり、2022年1月に20年間の契約切れがあることなどから、移転の話しとなった。

この間、物件探し、横浜市及び業者とも話し合ってきたが、進展していなかった。しかし業者から「地主がGHを建てたい物件がある」などの話があり、4月19日に、意見交換を行った。今後、前向きに検討することとなった。

また、コロナ感染対策では、夜勤職場に関わらず、日中支援が多くなり、職員の2名体制など人的配置に困難が生じた。今後の重要課題となった。

また、業務においては、毎月の常勤会議、各事業所の会議を開催し、利用者の支援内容や行事、保護者との関係など系統的に話し合いを行ってきた。

(3) 日中事業所

日中事業所は、各々月1回会議を開催し、事業所の状況、支援内容、保護者との関係など話し合いを行い、意思統一を図ってきた。まだ不十分な点はあるが、進歩してきている。またコロナ感染対策として、本年1月に感染者があり、特にネバーランドでは多くの利用者及び職員までが感染し、他の事業所にも波及した。しかし初動対応での、発熱したらすぐにPCR検査や自宅待機などの指示が早く、ある程度全体への広がりを防止することになった。しかし法人として、GHへの支援や体制の不十分さがあり、課題を残した。

(4) 相談室

2021年度は常勤1名、非常勤1名体制で業務執行してきた。非常勤は過去に専門職として、相談を担当していた経験があり、順調に対応していた。また、相談利用者は、48名に拡大してきている。2022年度は当面非常勤2名体制で執行していく。

(5) 法人事務局

2014年度から17年度まで2名体制であったが、17年4月から19年2月までは1名、そして19年2月から2名体制となった。その意味で、会計・庶務事務はこの間大変さがあったのは事実である。そのため法人本部体制の充実が一貫して求められてきた。2022年度4月からは、専従常勤理事を配置することとなっ

た。

本来、法人事務局は法人の経営、運營業務、理事会、評議員会など機関会議への対応、行政や他団体との調整、各事業所の管理、運営など法人全体の任務を担っている。その点ではまだまだ不十分である。

今後、事業体ごとの事務局、そして全体の事務局を構築し、法人の発展をめざすことが大事である。

5 利用者、保護者、家族及び地域社会から信頼される運営

(1) 利用者・保護者・家族

2021年新型コロナウイルス感染が収束せず、利用者・保護者の皆さんに感染防止対策の通知を数度発信し、大変なご苦勞をお願いした。2021年12月末まではトロワランドで1名の感染者があったものの他への感染はなかったが、22年1月になり、ネバーランドの1名が発熱して、その後、利用者数名、GHへと広がり、各日中支援にも感染者が増加した。特にGHにおいては、日中支援が増加し、執行体制に苦慮した。今後の災害及び感染症対策への課題となった。保護者との行事及び懇談会も実施するのが困難であった。

(2) 地域貢献・交流活動

地域においても、新型コロナ感染症の影響で法人として参加していた行事や防災訓練などは中止となり、地域交流がなく地域への貢献活動は進まなかった。

そのような中、トロワランドでは、横浜国立大学生とのコラボにより、廃棄予定のみかんを再利用し、ジャムを製作するなどの活動を行い、タウンニュースや県の広報にも取り上げられた。また、三ツ沢地区社会福祉協議会の総会が開催され、委員として出席した。

6 研修

懸案となっていた管理者・中堅研修の開催は、コロナの状況下では困難であった。しかし、webを利用したオンライン研修については、各事業所から積極的に参加することができた。今後、法人内研修の強化をはじめ外部研修への参加、サービス管理者研修等に積極的に参加する必要がある。

7 広報

年4回業務執行理事を中心に作成した。職員、利用者などの動き、状況を報告することができた。

8 法人業務執行体制の充実、関係機関会議の開催、行政、地域関係団体、他関係との連携促進

新型コロナウイルス感染拡大が収束せず、業務執行に苦勞を重ねた1年であった。

法人内関係会議は、ほとんど対面方式で実施し、運営の充実を目指した。

理事会、評議員会は21年度すべて対面方式で実施し、法人の運営・経営の方針、予算・決算などを討議し、併せて理事、評議員、監事等の改選についても順調に推移した。

(1) 評議員会 定数7名

ア 定時評議員会 6月26日

(報告事項)

(ア) 本部・ネバーランド移転に伴う報告

(イ) 2021年度事業報告

(審議事項)

(ア) 2021年度決算報告及び監査報告

(イ) 定款変更

(ウ) 理事及び監事の選任

イ 臨時評議員会 3月19日

(報告事項)

(ア) 本部・ネバーランド移転に伴う報告

(イ) 今人移転状況及び契約更新

(決議事項)

(ア) 定款変更

(イ) 役員報酬規程変更

(審議事項)

(ア) 2022年度事業計画案

(イ) 2021年度補正予算案

(ウ) 2022年度予算案

(2) 評議員選任解任委員会 6月15日

(議題)

評議員選任(理事会推薦)

(3) 理事会 定数6名

ア 第1回 5月21日

(報告事項)

(ア) 役員執務状況報告(毎回 以下略)

(イ) コロナ対応

(ウ) 本部・ネバーランド移転状況

(エ) 今人移転状況

(審議事項)

- (ア) 2021 年度事業報告
- (イ) 2021 年度決算報告及び監査報告
- (ウ) 理事及び監事の改選
- (エ) 評議員選任
- (オ) 評議員選任・解任委員の選任
- (カ) 評議員選任・解任委員会開催
- (キ) 定時評議員会の開催
- (ク) 本部事務所・ネバーランド移転に伴う債務の日付変更
- (ケ) 定款変更
- (コ) 運営規定変更

イ 第2回 6月26日

(報告事項)

評議員会での決議内容

(審議事項)

理事長及び業務執行理事の選任

ウ 第3回 9月17日

(報告事項)

- (ア) 事業計画進捗状況
- (イ) 月次による経営分析
- (ウ) 本部事務所・ネバーランド移転
- (エ) 研修、広報
- (オ) GH コロナ対応
- (カ) 法人設立 20 周年記念行事の準備
- (キ) 福祉まつりの検討

(審議事項)

- (ア) 本部事務所・ネバーランド移転に伴う担保設定、根抵当権解除及び抵当権設定
- (イ) 今人移転

エ 第4回 11月26日

(報告事項)

- (ア) 本部事務所・ネバーランド移転
- (イ) 今人移転状況
- (ウ) 横浜市指定事業者集団指導資料による食事代等の取扱い変更及び関連事項

- (エ) 研修
- (審議事項)
- (ア) 事業計画編成方針
- (イ) 2022 年度予算編成方針の考え方及び常勤専従理事の確保
- (ウ) 新法人組織体制
- (エ) 2021 年度上半期決算報告
- (オ) 本部事務所・ネバーランド移転現状総支出金額

オ 第5回 3月10日

- (報告事項)
- (ア) 本部事務所・ネバーランド移転報告
- (イ) 横浜市実地指導報告
- (ウ) 今人移転状況
- (エ) 今人契約更新
- (評議員会決議事項)
- (ア) 定款変更
- (イ) 役員報酬規程変更
- (審議事項)
- (ア) 2022 年度事業計画案
- (イ) 2021 年度補正予算案
- (ウ) 2022 年度予算案
- (エ) 経理規程修正案
- (オ) 業務執行理事の確認
- (カ) 管理責任者、サビ管の任命
- (キ) 虐待防止委員会による運営規程変更
- (ク) 第三者委員の選任
- (ケ) 処遇改善実施要綱修正

9 今後の課題

法人の経営内容の充実、運営についての強化、地域貢献活動の推進、行政対応、他団体との交流を強くし、法人の信頼を高めることを引き続き追求する。

また、各事業体の管理体制の充実、サービス管理者など人材確保をも追求していく。

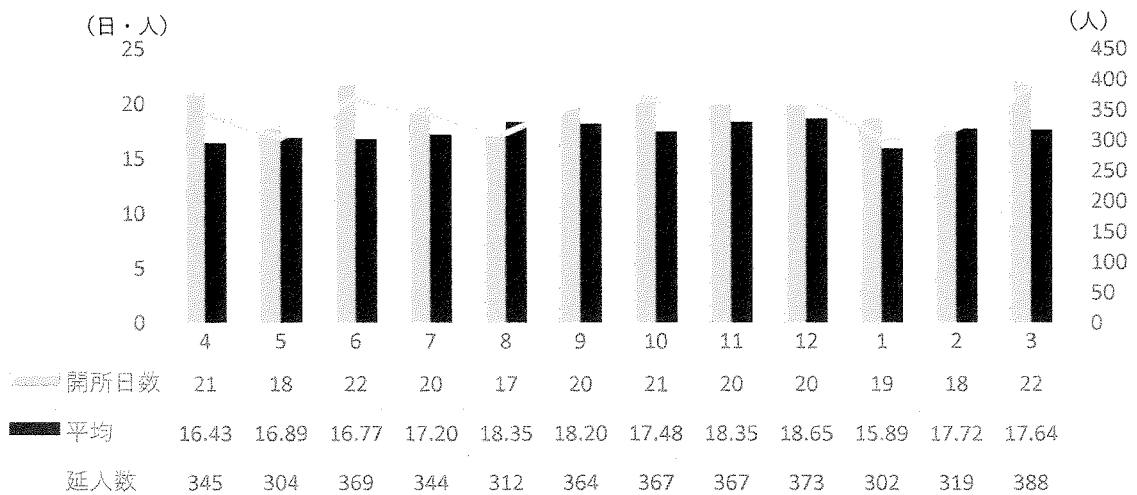
2021年度ハートランド事業報告（生活介護事業）

I 事業概況

- ・2021年度の大きな目標として、体調を崩さず元気に通所することに重点を置いた。その為、コロナ対策を重視し、朝・夕の2回テーブルやドアノブなど手を触れる箇所、トイレなど徹底したアルコール消毒を実施した。
- ・通所された際も手洗い、マスクの徹底を行った。
- ・室内で過ごす時間が長くなった為、ご利用者の多くに体重増加見られた。室内で体を動かせるよう保護者会寄付によりエアロバイクを2台購入、室内でも運動が出来るようにした。
- ・今年度も昨年同様、外の行事はすべて中止となりクリスマス会と食事はハートランド内で行った。
- ・沢渡地域ケアプラザより招待頂き、クリスマスの催しに参加。久しぶりの外部イベントを楽しまれた。
- ・ご利用者1名、7月に退所されたが同月に2名入所、さらに8月に1名入所された。

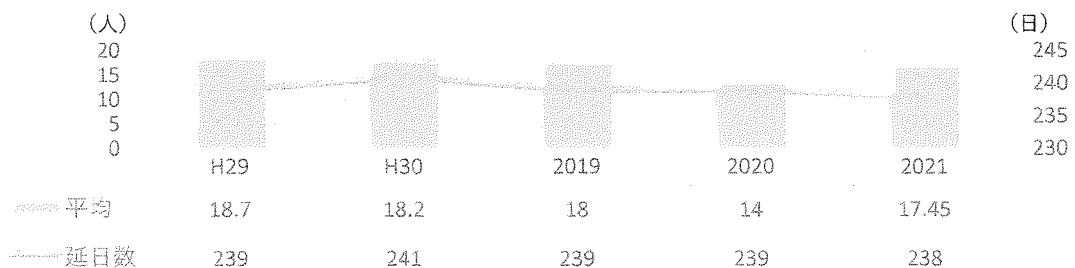
II 事業関係 実施期間 2021年4月1日から2022年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 238 日



※在宅支援での人数は除く

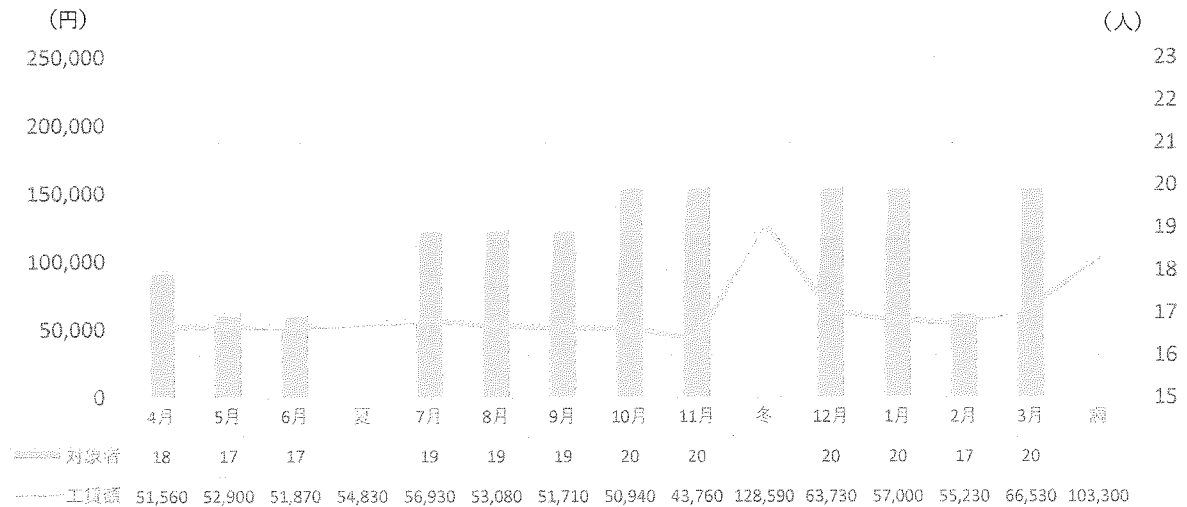
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む）

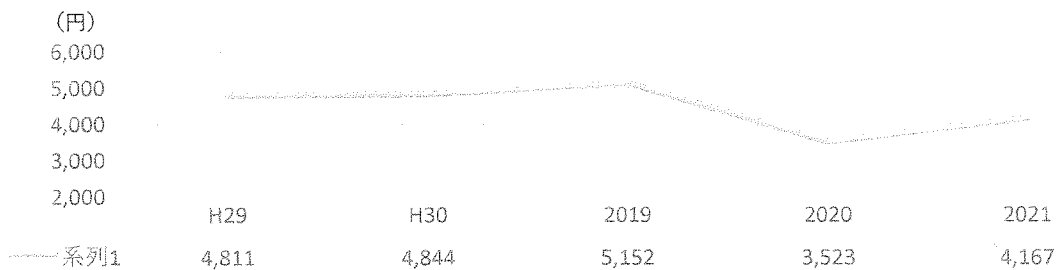
	行事内容	休日開所日・回数	
4月			回
5月			回
6月			回
7月			回
8月			回
9月			回
10月	きょうされん全国大会（web）		回
11月			回
12月	障害者の集い（web）／クリスマス会（沢渡ケアプラザ主催）／クリスマス会（事業所内）		回
1月			回
2月			回
3月	年度末食事会		回

3 工賃支給額 平均工賃額 4,167 円 工賃総額 941,960 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



4 作業内容

- ① 受注作業 : リベット・バッチ組み立て・メール便配達 他
- ② 自主製品 : 革製品・ビーズ製品他
- ③ 販売活動 : 自主製品販売、きょうされんカタログ販売
販売場所 : 区役所、ふれあいサロン、ともしびショップ、三ツ沢・片倉ケアプラザ他
- ④ 委託作業 : 片倉町バス停清掃・鶴屋町清掃・金港町清掃

5 利用者関係 ※2022年3月31日付

入所 3名

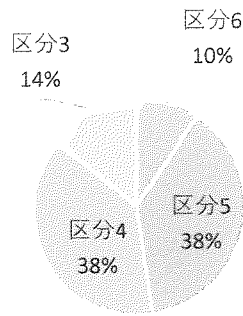
退所 1名

定員 20名 現員 21名

平均年齢 44歳

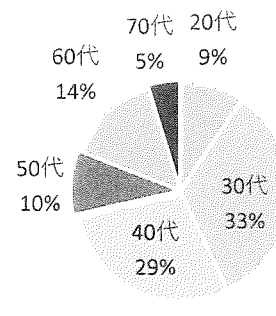
支援区分

	男性	女性	合計
区分6	1	1	2
区分5	6	2	8
区分4	8	0	8
区分3	1	2	3
区分2	0	0	0



年齢

10代	0
20代	2
30代	7
40代	6
50代	2
60代	3
70代	1



ヒヤリハット報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで 件数 6件

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ			
飲食			
薬			
転倒	5	段差や障害物に接触しての転倒	職員の見守り声かけの徹底
その他	1	道路横断時、自動車が飛び出してきた	横断歩道を極力利用する

0 1 2 3 4 5 (件)

ケガ
飲食
薬
転倒
その他

6 職員関係

職員配置	常勤	有期	備考
管理者	1		
サービス管理責任者	1		管理者兼務
生活支援員	3		
看護師		1	

採用 2名 常勤職員女性2名

退職 1名 常勤職員女性1名

異動 名

研修実績 延 230名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・web研修「サポーターズカレッジ」

・サービス管理責任者研修

・虐待防止研修、管理者研修、新人研修（法人内研修）

III 2021年度事業を振り返って

1. 利用者への支援

- ・コロナ対応で手洗い、マスクの徹底をした。手が洗えない方にはアルコール消毒で対応した。
- ・体調面において体重増加が多くの方に見られるため、室内で体を動かすことが出来るようにエアロバイクの購入をした。
- ・重度障害者支援を継続した
- ・清掃活動は2021年度まん延防止措置の為、掃除の中止時期があり、年間予定回数に満たなかった。
- ・今年度も工芸のボランティア(元美術教師)をお願いし、月2回の工芸活動を設け、作品展への応募もした。(残念ながら落選)

○工賃向上への取り組み

1. 今年度もコロナの影響によりコロナ以前のような作業受注は難しく、外活動の清掃、メール便収入が工賃収入の柱となった。次年度は、掃除の回数を増やす依頼が区役所より来ており、盲学校のプール清掃の依頼もあるため、さらに掃除での収入が増えると考えている。

2. 危機管理と環境整備

- ・コロナ対策として一日2回、朝夕に利用者が触れる場所のアルコール消毒をしている。
- ・消防設備点検時、利用者含めて消火訓練をした。また、大地震を想定した避難訓練を実施している。

3. 地域交流

- ・沢渡ケアプラザのクリスマス会に久しぶりに参加した。今後も交流を繋げていきたい。

4. 今後の課題

- ・コロナの影響は当分続くと考えられ、引き続き今後も感染予防に努める。
- ・職員体制の充実を必須とする。特に男性職員の確保を重点に置きたい。
- ・重度の発達障害の方に対し横浜市発達障害者支援センターの職員と連携して支援を検討していく。

2021年度トロワランド事業報告（生活介護事業）

I 事業概況

2021年度も新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年だった。年度が始まってすぐ1名ご家庭での感染で陽性者が出たが感染可能期間は休まれていた為他のご利用者への感染は免れた。保護者会のご寄付もあり、サーモ体温計や消毒の設置を行い、感染を広げないよう務めた。2月、3月にも陽性者が出たがいずれも他のご利用者への感染はなかった。

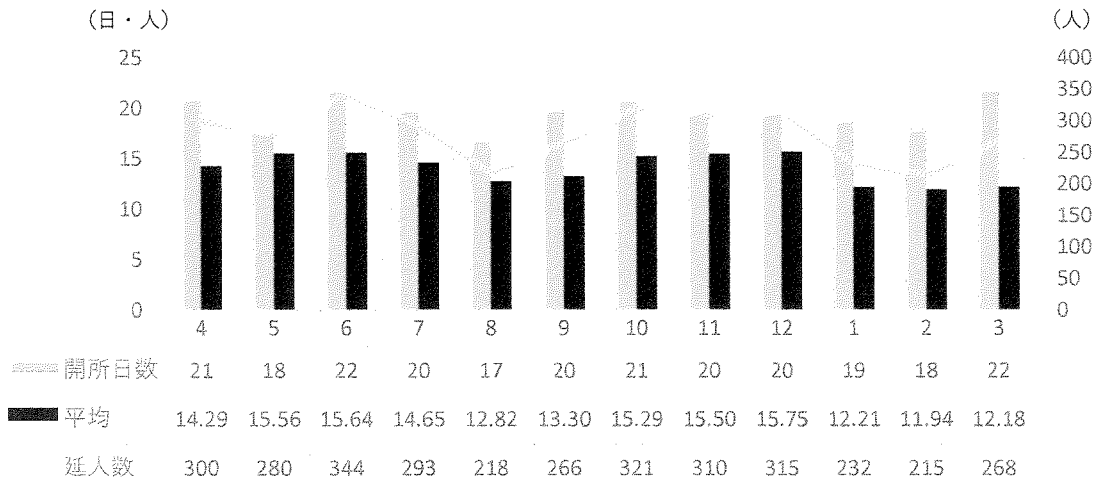
受注作業についてはコロナ前の水準まで戻り、安定して作業に取り組むことができたが、自主製品の販売ルートがほとんど無くなってしまい自主製品がほとんど売れない状況となった。

横浜国立大学生が行っている「アグリッジプロジェクト」に協力。廃棄する青みかんを有効活用、曾我山思いやりジャムとして販売。タウンニュースを通して神奈川県のHP～ともに生きるかながわ憲章～に取り上げられた。

社会福祉士を目指す学生の受け入れを2名行った。学生のみならず、職員ももう一度学び直す機会となった。学生からはこの春無事社会福祉士資格を得ることができたという報告を頂いている。

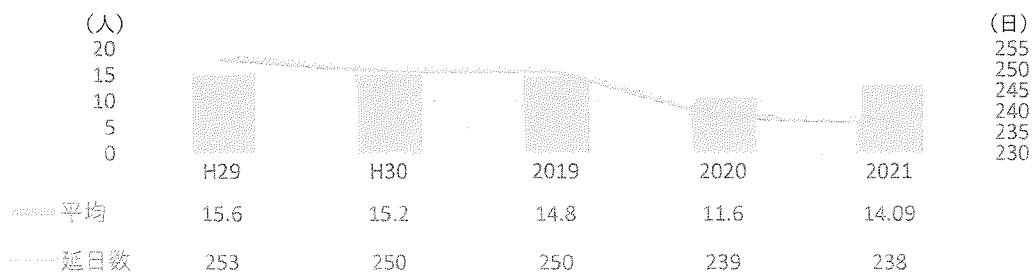
II 事業関係 実施期間 2021年4月1日から2022年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 238 日



※在宅支援での人数は除く

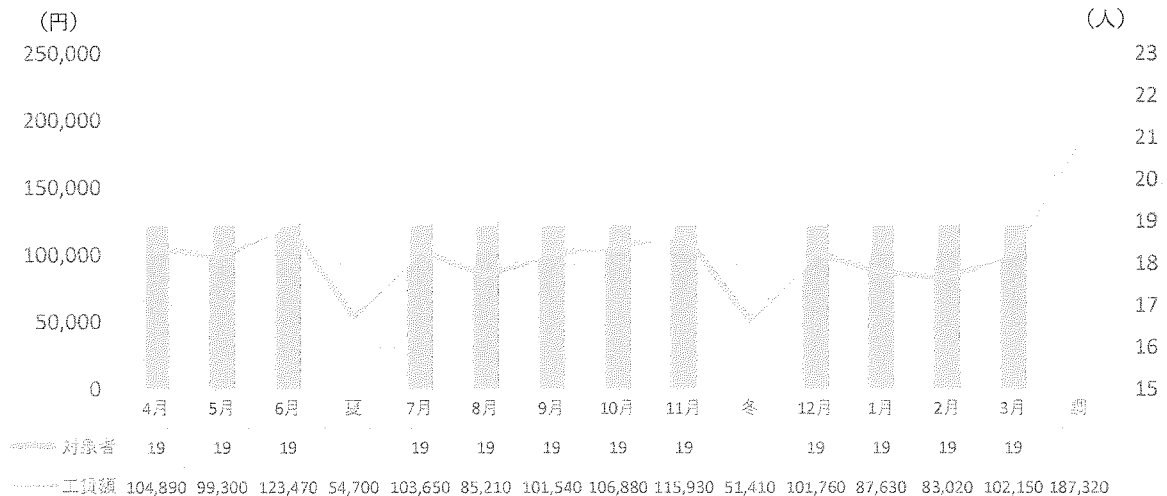
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む）

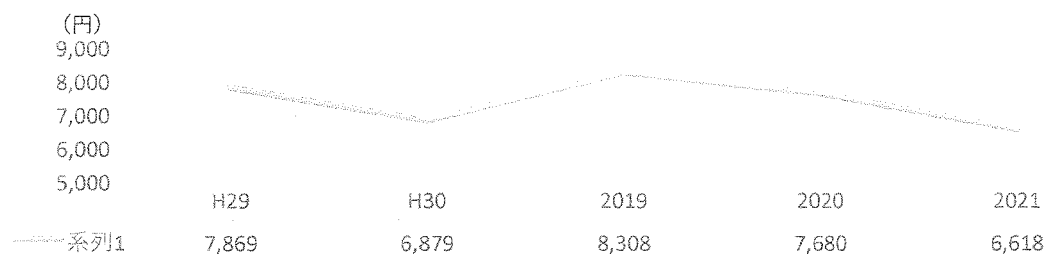
	行事内容	休日開所日・回数	
4月	入所式		回
5月			回
6月			回
7月			回
8月			回
9月			回
10月	きょうされん全国大会（Web）		回
11月			回
12月	障害福祉の未来を考える集い（Web）・クリスマス会		回
1月			回
2月			回
3月	年度末食事会		回

3 工賃支給額 平均工賃額 6,618 円 工賃総額 1,508,860 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



4 作業内容

- ① 受注作業 : ペン、電子部品の組立他
- ② 自主製品 : 乾燥野菜、ジャム、犬用ジャーキー、絞り染め製品、他
- ③ 販売活動 : 野菜・自主製品販売、きょうされんカタログ販売
販売場所 : トロワワゴン、地域ケアプラザ
- ④ 委託作業 : 区役所花壇整備、新横浜バス停掃除

5 利用者関係

※2022年3月31日付

入所 1名

退所 0名

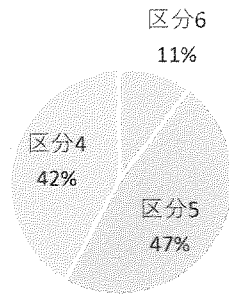
定員 20名

現員 19名

平均年齢 35歳

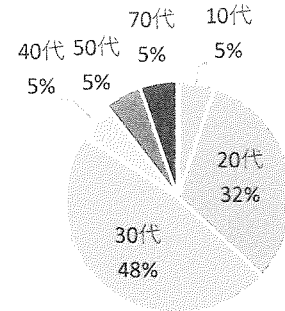
支援区分

	男性	女性	合計
区分6	2	0	2
区分5	6	3	9
区分4	5	3	8
区分3	0	0	0
区分2	0	0	0



年齢

10代	1
20代	6
30代	9
40代	1
50代	1
60代	
70代	1



ヒヤリハット報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで

延件数 18件

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ	7	ご利用者による他害、衝突	事前に把握し他害させない環境作り
飲食			
薬			
作業	6	指示書の確認ミス	複数の職員でチェックを行う
その他	5	納品時、取引先の二輪車と接触	安全確認の徹底

0 1 2 3 4 5 6 7 8 (件)

ケガ

薬

その他

6 職員関係

職員配置	常勤	有期	備考
管理者	1		
サービス管理責任者	1		管理者兼務
生活支援員	3	3	
看護師		1	
調理員		1	生活支援員兼務

採用 2名 常勤職員女性1名、男性1名

退職 1名 有期雇用職員男性1名

異動 0名

研修実績 延 76名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・web研修「サポーターズカレッジ」

・強度行動障害研修基礎・実践研修

・きょうされん情勢研修

・サービス管理責任者基礎・補足・更新研修

III 2021年度事業を振り返って

1. 利用者への支援

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。
- ・作業復調のため余暇は少な目であったが、作業だけではなく余暇も選べるようにした。きょうされんのオンラインイベントなど積極的に参加した。
- ・嘱託医へご利用者の健康相談やコロナ禍での注意点などを相談した。
- ・記録システムは未入。記録漏れのない体制を作り記録の充実を図った。
- ・ポン煎餅は試作段階で止まっている。自主製品が伸び悩み、平均工賃月額は前年と比べ下がってしまった。

2. 地域交流

- ・感染症拡大により地域の祭事が中止となり、地域交流の場が減少した。野菜販売を通じて地域の方が事業所に足を運んで来ている。
- ・ZOOMやこまめな電話連絡により地域事業所との交流を図った。
- ・横浜国立大学アグリッジプロジェクトと協働し摘果青みかんを使用した製品作りを行った。オンラインでの打ち合わせなどコロナ禍においても交流・連携ができ、その取り組みがタウンニュースに掲載された。あわせて神奈川県HP～ともに生きるかながわ憲章～にも掲載された。

3. 危機管理環境整備

- ・サーモ体温計の導入。自発で手指消毒が行える環境を作った。

4. 人材配置・研修計画

- ・社会福祉士実習機関として2名実習生の受入を行った。実習生へのミニ研修を行う際、新入職の職員にも一緒に受講して頂いた。
- ・常勤職員2名を採用した。
- ・感染症拡大により外部研修への参加が難しくなったため、オンライン研修の契約を行い年間を通じて利用。
- ・強度行動障害研修やサービス管理責任者研修を積極的に受講。

5. 経費の効率化・運営収入の確保

- ・新規ご利用者との契約。
- ・送迎人数の拡大。新規職員に送迎のための運転指導を行った。

2021年度ネバーランド事業報告（就労継続支援B型事業）

I 事業概況

移転を予定していた今年度、建築スケジュールが大幅に遅れ、引っ越しの予定日が変更になる等予定どおりにはいかない移転となったが無事に完了。その後のご利用者の通所に関しては、グループホームへの送迎や駅からネバーランドへ行く道へ職員を配置するなどし、移転先に迷うことなく安全に通所ができるように配慮した。大きな混乱なく移転を済ませることが出来た。

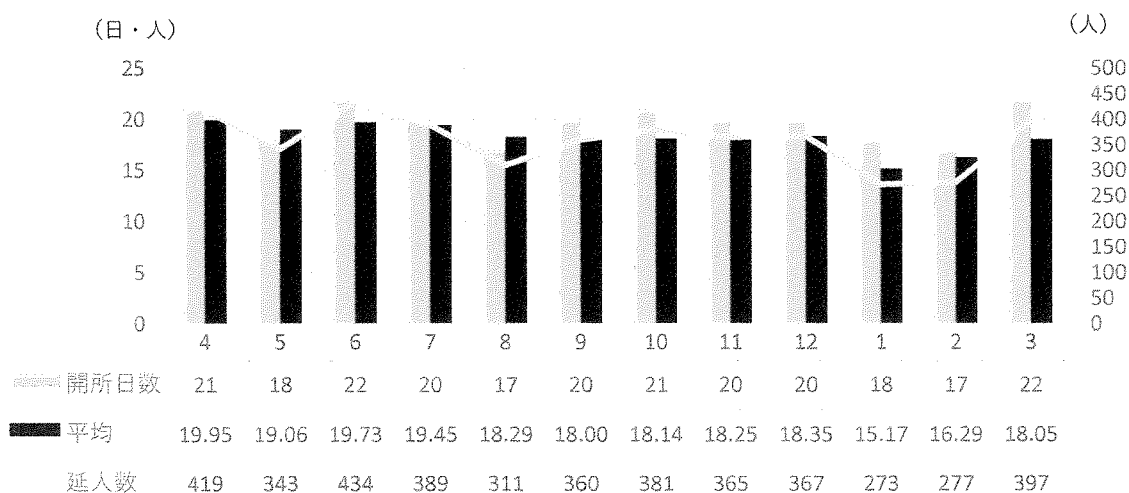
移転前後は準備などのため通常通りの作業が出来なかったこと、コロナ流行により販売先がなくなるなどの理由により今年度はボーナスが減少したが、移転によりカフェをオープン。リピーター客も見られるようになってきた。

感染対策を徹底していたつもりだったが、1月末コロナウィルス感染者が事業所内で発生。その結果ご利用者11名、職員4名のクラスターとなってしまった。感染対策を再検討し、再度クラスターとならないよう対策を立てた。

昨年度に引き続きイベントの少ない1年ととなったが、大きく出席率が下がることなく皆様通所されていた。

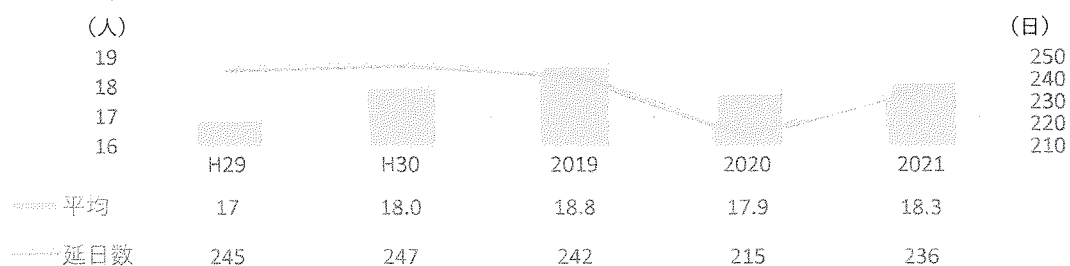
II 事業関係 実施期間 2021年4月1日から2022年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 236 日



※在宅支援での人数は除く

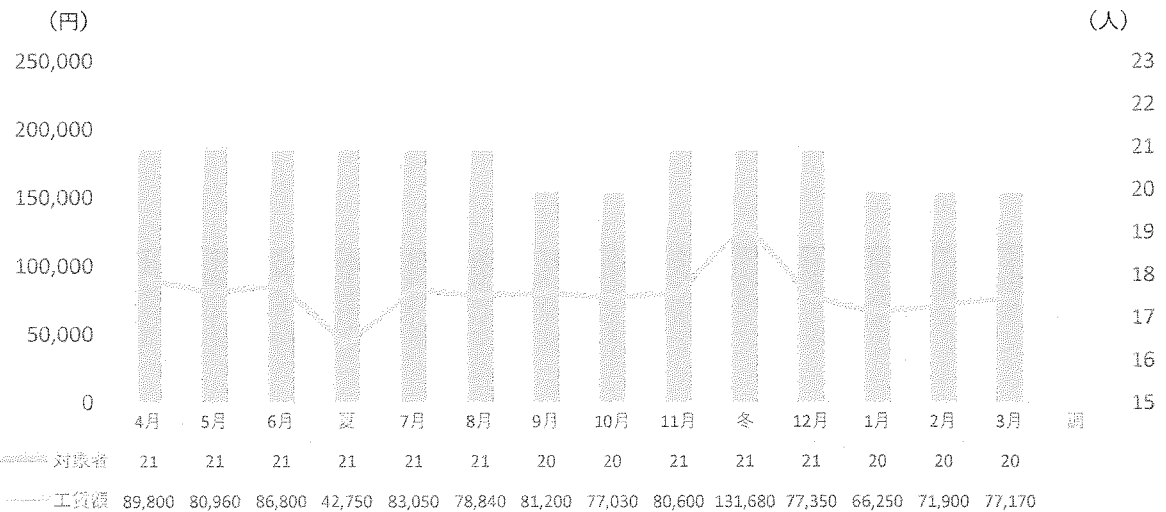
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む）

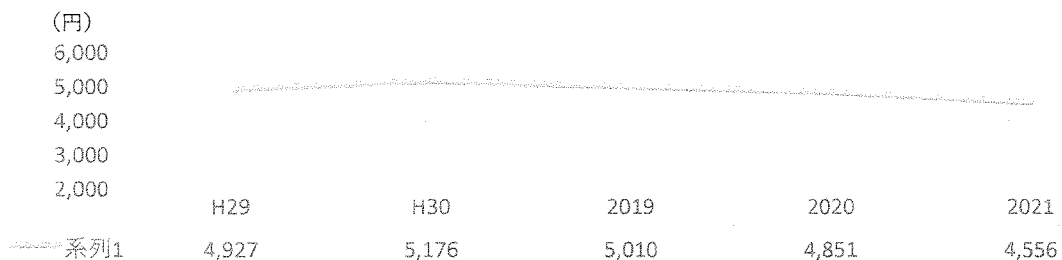
	事内容	休日開所日・回数	
4月			0回
5月			0回
6月			0回
7月			0回
8月			0回
9月			0回
10月			0回
11月			0回
12月	クリスマス会		0回
1月			0回
2月			0回
3月	お疲れ様でした会		0回

3 工賃支給額 平均工賃額 4,556 円 工賃総額 1,125,380 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



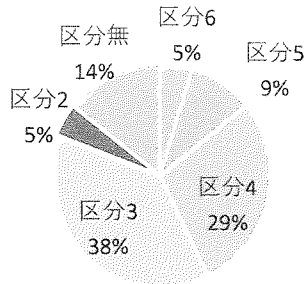
4 作業内容

- ① 受注作業 : なし
- ② 自主製品 : 菓子製造・知育玩具等の手芸品・古紙回収
- ③ 販売活動 : 自主製品販売、きょうされんカタログ販売
販売場所 : ネバーランドカフェ、受注生産
- ④ 委託作業 : 横浜市委託公園掃除、小学校清掃

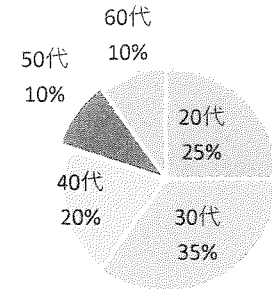
5 利用者関係 ※2022年3月31日付

入所 名
 退所 1名
 定員 20名 現員 20名 平均年齢 39歳
 支援区分

	男性	女性	合計
区分6	0	1	1
区分5		2	2
区分4	6	0	6
区分3	6	2	8
区分2	1	0	1
区分無	2	1	3



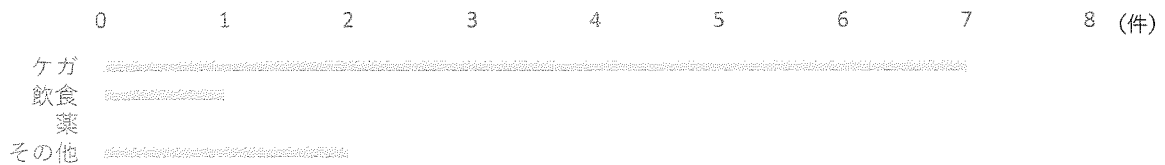
年齢	人数
10代	0
20代	5
30代	7
40代	4
50代	2
60代	2
70代	



ヒヤリハット報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで 件数 10件

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ	7	壁に手のひらをこする・転倒・他害	止血・消毒。見守りの強化。他害しない環境作り
飲食	1		食べ物がのどに詰まる
薬			
その他	2	車を壁にこする	安全確認の徹底を行う



6 職員関係

職員配置	常勤	有期	備考
管理者	1		
サービス管理責任者	1		管理者兼務
職業指導員	1		
生活支援員		3	
目標工賃達成指導員	1		

採用 0名
 退職 0名
 異動 名
 研修実績 延 30名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・Web研修「サポーターズカレッジ」

・事業所内研修

・食品衛生

III 2021年度事業を振り返って

1.利用者への支援

- ・新規自主製品活動：餃子作りの練習と研究を定期的に行い商品化。新たな手芸品の開発とご利用者の技術向上のための支援。
- ・余暇活動：コロナ流行のため中止。クリスマス会とお疲れ様でした会を開催。
- ・健康面：コロナの影響により水泳やサッカーなどの運動は今年度も中止。
- ・支援の輪作り：計画相談やCW等関係機関と連携をとり支援した。

2.地域交流

- ・ネバーランドのカフェ「PPAINESS」オープン。近隣にビラ配りなどを行っているが、コロナ流行もありなかなか積極的には動ききれていない。
- ・古紙回収：近隣の回収の継続。

3.危機管理環境整備

- ・防犯カメラの設置。
- ・虐待防止防災時対策等：次年度継続。

4.人材配置・研修計画

- ・昨年度と合わせ事業所内研修を実施予定だったが事業所内でコロナクラスター感染があったため延期になったものもあった。オンライン研修などは引き続き受講。

5.経費の効率化・運営収入の確保

- ・2022年4月から利用予定のご利用者2名と3月に契約。

6.移転に伴う事項

- ・アイダ設計側の都合により移転予定日が伸びたが、移転完了。変更届提出、10月1日より新住所にて運営。またコロナ流行により見学会が開催できなかったため、保護者の方へ新居の様子を動画でお知らせした。






2021年度 共同生活援助事業報告

I 事業概況報告

- 1、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言時はご家族と連携しながら、支援をおこなった。
- 2、新型コロナウイルス感染症について、社会情勢にあわせ、複数回に渡り文章にて入居者・保護者に説明と協力をお願いをおこなった。
- 3、外出自粛が続く中、利用者のストレス軽減のため、各住居ごとに出来る範囲での余暇活動支援をおこなった。
- 4、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を利用者の状況や意向に合わせて推進をし、申請、付き添いなどの支援をおこなった。
- 5、新型コロナウイルス感染者に感染した利用者の介護に、24時間体制、1ホーム2名の職員配置で2週間の対応をおこなった。
- 6、今人の移転委員会で、数回にわたり検討協議をおこなった。
- 7、横浜市実地調査の指摘を受け、食材費、日用品、職員の勤怠などの改善をおこなった。

II 事業関係 事業期間 2021年4月1日～2022年3月31日

1 利用実績

	性別	定員	稼働率	
れいんぼう	男	8名	99%	
はっぴー	女	8名	70%	
今人	男	6名	93%	
銀河	男	6名	98%	
第二銀河	男	6名	99%	

2 行事報告（参加者数には支援者及びボランティアは含まない）

	行事内容	れ	は	今	銀	2	計
4月							名
5月							名
6月							名
7月							名
8月							名
9月							名
10月							名
11月							名
12月	各住居ごとにクリスマス会	8	7	6	6	6	33名
1月							名
2月							名
3月							名

3 各ホーム外出行事

活動名	れ	は	今	銀	2	計
ホーム内食事会	8	7	6	6	6	33名
ホーム内カラオケ大会		7		6		13名
買い物外出	8	6	5	5	5	29名
ドライブ（公用車にて）		4	3	5	6	18名
						名
						名
						名
						名

※ホーム内でアルコールを提供する食事会も含む

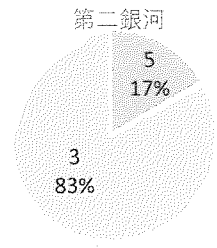
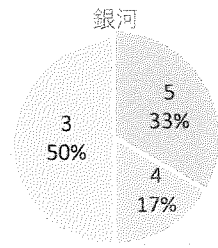
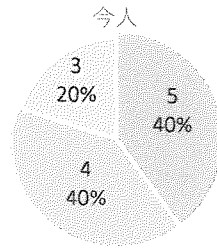
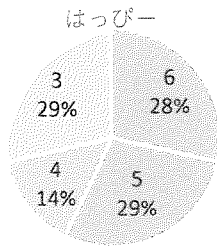
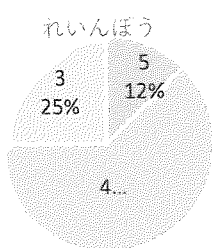
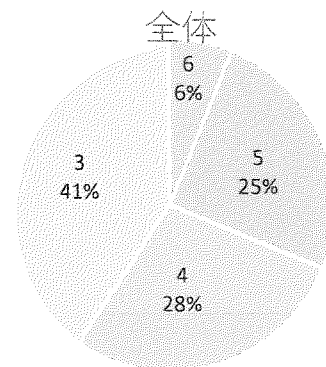
4 利用者関係 ※2022年3月31日付人員

入所 名 定員 34名

退所 1名 現員 32名

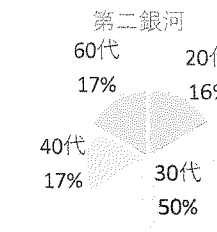
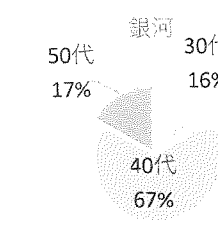
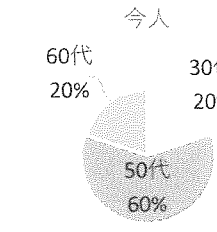
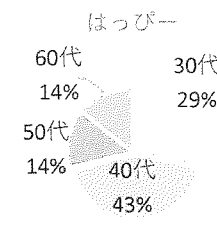
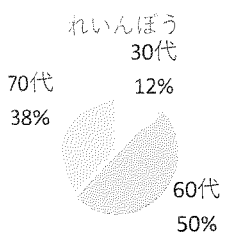
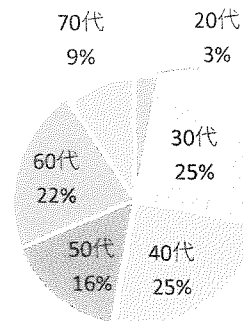
支援区分

	6	5	4	3	2	1	無
れいんぼう		1	5	2			
はっぴー	2	2	1	2			
今人		2	2	1			
銀河		2	1	3			
第二銀河		1		5			
合計	2	8	9	13			



年齢割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
れいんぼう			1			4	3
はっぴー			2	3	1	1	
今人			1		3	1	
銀河			1	4	1		
第二銀河		1	3	1		1	
合計		1	8	8	5	7	3



5 日中活動場所 ※重複通所あり

一般就労 7 名

(株)東急ウィル/(株)そごう・西武/損保ジャパン

三洋装備(株)/京急サービス(株)/(株)金原/サンデリカ町田営業所

通所施設 24 名

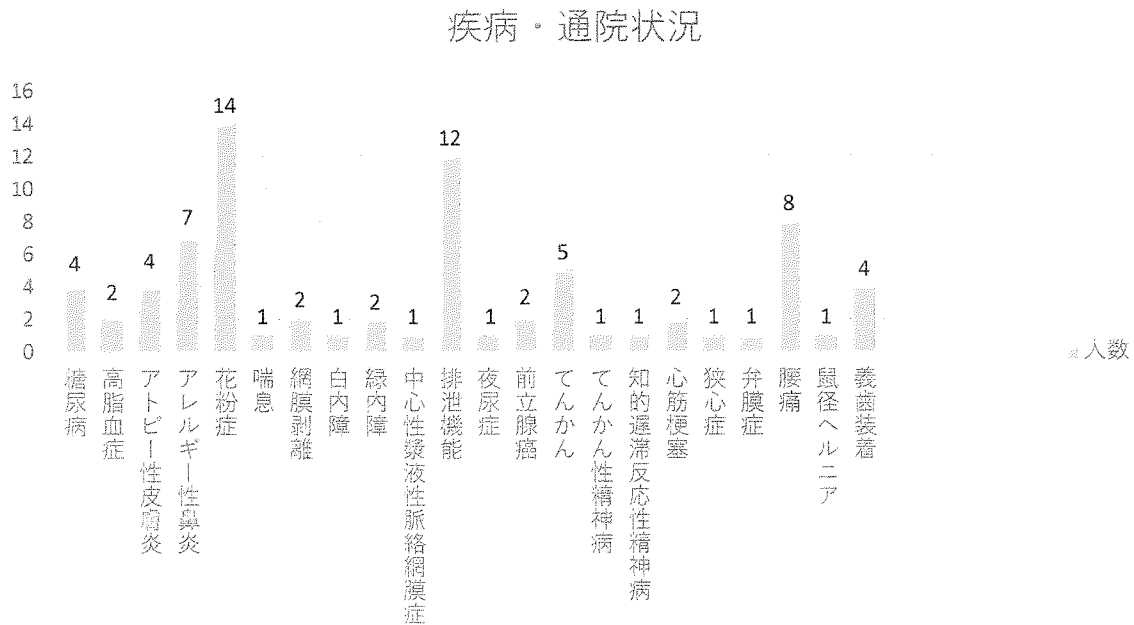
金沢若草園、ワークショップ夢21、夢工房4番館、トレジャーボックス、ハートランド、ネバーランド、トロワランド、(株)リアン、はばたき、マーキュリー

高齢者施設 3 名

鍼灸マッサージ 憩 ミツ沢、デイサービス いこい家

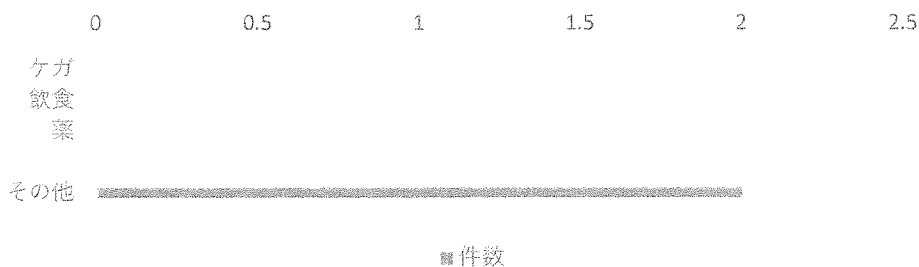
ヒューマンライフライフケア

6 疾病・通院状況



ヒヤリハット報告

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ			
飲食			
薬			
その他	2	転倒（怪我なし）	転倒しやすい方の行動把握と見守り



6 職員関係

職員配置	常勤	有期	嘱託	備考
管理者	1名	名	名	
サービス管理責任者	2名	名	名	
世話人	6名	4名	名	
生活支援員	名	8名	7名	

採用 有期 職員 女性 名
 有期 職員 男性 名
 退職 有期 職員 女性 1名
 有期 職員 男性 1名

研修実績 延 10名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております
 主な研修 ・Web研修「サポーターズカレッジ」

III 2021年度事業計画を振り返って

- 1、新型コロナウイルス感染症という危機的環境の中で、生活の場であるグループホームの役割や支援について、何度も職員間で協議し、何度も意見を交わした。
- 2、新型コロナウイルス感染症に利用者が感染し、グループホームでの感染症対策の限界を感じた。
- 3、平常時より医療機関との連携が出来ていたことで、感染者が出た時にスピーディーな対応をすることができた（即日PCR検査対応など）。
- 4、介護保険の要介護認定を受け、関係機関を増やす事でサービスの向上や幅を広げられるように努めた。
- 5、今人移転については、移転委員会を開催し、検討・協議をおこなった。
- 6、緊急時（コロナ感染者発生など）の人員体制に若干苦勞したが、グループホーム職員間で協力し、継続してグループホームでの支援をおこなうことができた。

2021年ぐりーんろーど相談室事業報告（特定計画相談事業）

I 事業概況

コロナウイルスの感染情勢により、モニタリング等の訪問は事業者と調整し、検温確認、マスクの着用、手指消毒等を徹底のうえ行った。対面不可の際には、電話や書面での聞き取りをし、不足部分に関しては、書面やメールなど感想を発信しやすい方法でも聞き取りを行った。

対面での会議だけでなく、ご本人・ご家族の意向を尊重し電話での聞き取りや個別に事業所担当者を尋ね聞き取りを行い計画案を作成した。

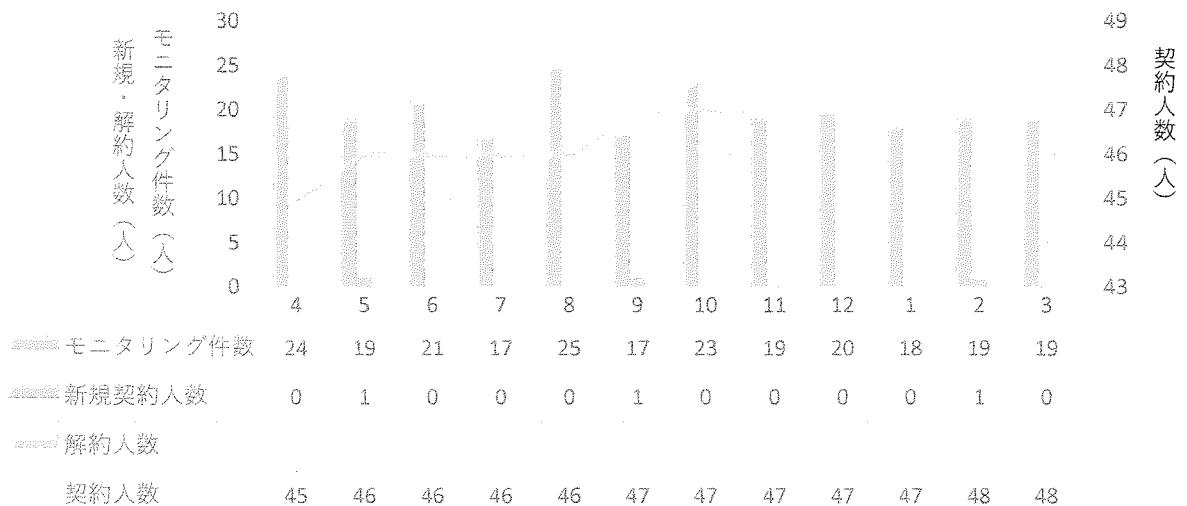
区役所からの依頼により新規に3名の方、他事業所からの移管、4名の方と契約を締結しサービス提供を行った。

サービスの変更、新規利用の為に見学の同行を行い、就労継続支援B型の利用、共同生活援助、移動支援へ繋げる事が出来た。事業所との連携を図り事例検討などの会議の際には基幹相談支援センターと連携し検討を行った。

コロナ禍における取り組みとして、障害者向けのワクチン接種の依頼に応え、集団接種の申込をサポートした。

II 事業関係 実施期間 2021年4月1日から2022年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 238 日



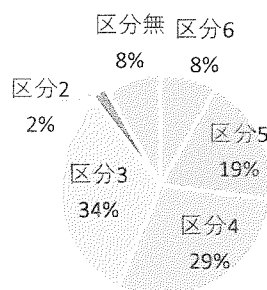
2 利用者関係 ※2022年3月31日付

契約者人数 48 名

平均年齢 40 歳

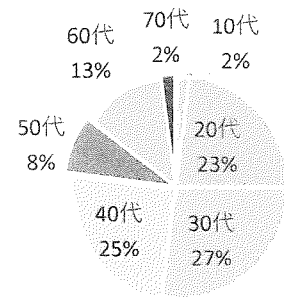
支援区分

	男性	女性	合計
区分6	2	2	4
区分5	6	3	9
区分4	12	2	14
区分3	15	1	16
区分2	1	0	1
区分無	3	1	4



年齢

10代	1
20代	11
30代	13
40代	12
50代	4
60代	6
70代	1



居住区別（援護の実施機関）内訳 合計 48 名

神奈川区	25	金沢区	3	栄区	2
保土ヶ谷区	3	南区	2	旭区	1
鶴見区	2	西区	2	泉区	1
港北区	1	緑区	1	都筑区	3
磯子区	0	港南区	1	横須賀市	1

3 職員関係

職員配置	常勤	有期	備考
管理者	1		
相談員	1	1	9月1日より有期相談員採用

採用 1名 有期雇用職員男性1名
 退職 1名 常勤職員
 異動 0名

研修実績 延 4名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・相談支援初任者研修

- ・サービス管理責任者更新研修
- ・web研修「サポーターズカレッジ～家族支援～」
- ・計画相談支援における報酬体系について

III 2021年度事業を振り返って

- ・6月よりハートランド2階に事業所が移動した為、デスク、ロッカー等を購入した。また、印刷、コピーが増えて来たこともあり、業務用プリンターを購入している。
- ・9月より非常勤職員が1名入職し、相談員が常勤1名、非常勤1名の2名体制になったが、来年度7月以降は非常勤2名体制になる為、現状でも就業時間内での作業の終了は難しく、時間的に逼迫する事が考えられる為、人員増員により作業を分担して行ける様にする事が今後の課題と考える。
- ・利用数が45名であったが、今年度は3名増え、48名になっている。
- ・コロナの影響で事業所閉鎖などにより、対面でのモニタリングが出来ない事が多く、書面、メール、SNS、電話など非対面のモニタリングが増えた。
- ・研修はwebや法人内事業所への研修、自立支援協議会の機会に参加した。
- ・消耗品の節約とし各家庭との書類の往復は、封筒ではなくファイルを用いて使い切りの物を無くした。モニタリングは個々の状況に応じて頻度を2ヵ月に1度として実施し、初年度以降も行なった。
- ・利用者の希望による移管手続きのサポートやアフターフォローとして関係機関と連絡をとり、契約終了後も情報共有、引継ぎ等のサポートを行った。